

公益社団法人宮古島市シルバー人材センター
令和4年度事業報告

I 概 要

令和4年度宮古島市においては、急速に進む少子高齢化社会の中、60歳以上の高齢者は35%を超え、シルバー人材センターの担う役割も大きく、「生涯現役社会」を実現することがますます重要となります。基本理念である「自主・自立」「共働・共助」に基づき、会員拡大の説明会や安全・適正就業の徹底及びボランティアなどの社会参加活動にも取り組んでまいりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、シルバー互助会の親睦行事等が昨年同様に開催する事もできない状況となりましたが、市当局を始め関係機関や地域の方々のご支援、ご協力のもと就業延人員1,649人の増、会員数は6人の増となり受注契約額も1,136万円増の実績を上げる事ができました。

以下、令和4年度の事業の具体的な実施状況について報告します。

II 事業報告

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な就業機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、これを会員に対して、その能力、希望等に応じて請負又は委任の形式により提供する事業を行った。

数値実績

① 会 員 数	367人
② 就 業 率	50.4%
③ 受 注 件 数	861件
④ 就業延人員	19,337人日
⑤ 受注契約額	136,716,722円

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による、臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な就業を希望する会員及び一般高齢者のために有料の職業紹介事業を行ったが実績を上げるには至りませんでした。

② 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する会員のために臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業の範囲で労働者派遣事業を行った。

ア 数値実績

- ・受注件数 1件
- ・就業延人員 48人日
- ・労働者派遣事業実績 253,440円

(3) 臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

就業上必要な知識、技能を就業意欲のある高齢者に付与することにより就業に結び付けるとともに、より広い分野での仕事を確保提供するため次のとおり行った。

ア 講習回数 2回

内容 ・刈払機取扱いに関する講習会 ・安全就業に関する講習会

イ 受講者数 12名、19名

(4) 上記(1)から(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

一般市民、事業所、官公庁に対し、本事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知するとともに、高齢者自身の意識啓発を図るため、次のとおり行った。

ア 地域の高齢者へシルバー人材センター事業を周知し事業参加の呼びかけを行った。

イ 普及啓発促進月間(10月)の推進。

- ・「豊旗の塔」ボランティア清掃活動等の実施 参加者 43名
- ・役職員によるリーフレットの配布 300部 スーパー3店舗
- ・会員一人ひとりによる、口コミ運動の展開及びリーフレット配布

ウ ホームページによる情報提供を行った。

エ 行政及び関係団体等との連携強化を図った。

- ・全シ協の決議文及び事業の拡大・支援について市長、議長へ要請を行った。
- ・宮古島市生涯現役促進協議会主催の「シニアのためのお仕事紹介フェア2022」への参加
事業の説明、会員募集、パンフレット配布等
- ・高齢者セミナー講習会の実施 スマホ講習、入会説明13名参加

② 安全・適正就業推進

高齢者が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう安全意識の高揚とこれまでの、事故発生の変因を念頭に置き「安全は全てに優先する」

ことを改めて確認し、組織を挙げて事故撲滅に努めるとともに、法令遵守による適正就業の徹底を図るため、次のとおり行った。

- ア 安全・適正就業委員会 1回
- イ 安全・適正就業推進員による巡回指導 4回
- ウ 安全・適正就業強化月間 安全大会実施 参加者 19名
- エ 安全委員会、役員、職員による宮古神社にて新年安全祈願祭
- オ 受注契約の内容や就業形態について、自主点検表による確認を行い、業務について徹底した適正就業に取り組んだ。

※結果として1件の物損事故と2件の傷害事故が発生した。

③ 調査研究

高齢者の就業に対する意識調査及び地域のニーズや時代の要請に対応した事業展開を図るために次のとおり調査研究を行った。

- ア 高齢者の就業に対する意識調査に関する調査を実施した。
 - ・入会説明会時におけるアンケート調査30名
- イ 各種会議・研修会にて得た情報を基に研究しセンター事業に反映させた。
 - ・会議、研修会参加回数 14回

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁を訪問し、高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、高齢者の職業能力や経験を把握・分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を次のとおり行った。

- ア 開拓員による、一般家庭、事業所等を訪問し就業開拓・拡大を図った。
 - ・開拓日数 177日 ・訪問件数 2,897件
- イ 会員による就業開拓を推進した。43件

⑤ 企画提案方式事業

地域社会における各分野の課題に応えるため、地方公共団体と連携した地域密着型の事業を行った。

- ・軽度生活援助事業、生涯現役促進地域連携事業、空き家対策事業

⑥ 相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、地域における働く高齢者のためのワンストップセンターとして、雇用、就業職業能力開発、ボランティア活動、情報提供を次のとおり行った。

- ア 入会説明会・相談会の開催 (年間30回)

⑦ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、「できることを」・「でき

る範囲で」行う社会参加活動を行った。
ア 清掃ボランティア（参加者109名）

(5) 運営体制

① 会議

- ア 定時総会の開催 1回
- イ 理事会の開催 11回
- ウ その他必要な会議の開催 各部会 2回

② 事務局体制の充実

センターの事業運営には事務局体制の充実が不可欠であり、そのために事務局職員の資質向上を図った。

- ア 新たに導入される事業や再編事業等、変化していくシルバー事業へ対応するための情報を収集し、組織的に対応できる事務局体制を構築した。
- イ 各種研修会参加及び他のセンターとの連携により職員の資質向上を図った。
- ウ 事業を円滑かつ効率的に推進するため定期的な職務会を実施した。
 - ・業務ミーティング 12回
- エ 沖縄県シルバー人材センター連合との連携を図った。